



Rotary Club of SUGITO

杉戸ロータリークラブ週報

2006～2007年度 RIのテーマ

Lead the way

会長 仁部前明 幹事 下津谷忠男 会報委員長 田中昌夫

第1850回例会(2006年12月5日)

点鐘

仁部会長

ロータリーソング

君が代、奉仕の理想

四つのテスト唱和

篠原委員長

誕生祝、結婚祝い

細井委員長

12月の誕生祝は井上会員、中島会員、結婚祝いは庄司会員と鈴木会員の皆さんです。おめでとうございます。



会長挨拶

仁部会長

本日の会長挨拶は何にしようかと朝まで考えておりましたが、雑感ということにいたしました。まず、その前に皆さんにご報告がございます。武井会員が法務大臣の表彰を受けましたので、慶弔規定に基づきお祝いを差し上げたいと思います。おめでとうございます。武井会員は昭和58年から24年間保護司として刑務所や少年院に入った人や出た人達のめんどうを見てきたわけですが、大変な仕事だと思いますが、これからも社会のために頑張っていただきたいと思いま

す。

さて、最近のニュースを見れば相次ぐ県知事の不祥事やいじめ、自殺、親殺し、子殺し等、悪いニュースばかりです。しかし、これらのニュースも一日に何回も放映されると世論にかくれてマスコミが騒がせているのではないかな？と思うところもあります。こんな中、今年の流行語にも選ばれましたが、藤原雅彦氏の「国家の品格」から抜粋をしてお話をさせていただきます。

《会津藩の教え》

江戸時代、会津藩に日新館という藩校がありました。白虎隊も教えを受けていた藩校なのですが、ここに入る前の子弟に対して「じゅうの掟」というのがありました。

一つ、年長者の言うことに背いてはなりません
二つ、年長者にはお辞儀をしなければなりません

三つ、虚言を言うことはなりません

四つ、卑怯な振る舞いをしてはなりません

五つ、弱いものをいじめてはなりません

六つ、戸外でものを食べてはなりません

七つ、戸外で婦人と言葉を交えてはなりません
次の文句で結ばれています。

ならぬことはならぬものです。

要するにこれは「問答無用」「いけないことはいけない」と言っている。これが最も重要です……
「ならぬことはならぬものです」と、価値観を押し付けたのです。

《父の教え》

父は、「弱いものがいじめられているときは見

例会日： 火曜日 12:30～13:30 例会場： 埼玉りそな銀行杉戸支店 3F
事務所： 杉戸町杉戸 2-12-26 埼玉りそな銀行杉戸支店内
TEL 0480 - 34 - 1716 FAX 0480 - 34 - 1360

で見ぬふりをするのは卑怯だ」というのです。
「弱い者を救うときには力を用いても良い」とは
つきりいいました。ただし、五つの禁じてがある。
一つ、大きい者が小さい者をぶんけっちゃいか
ん。
二つ、大勢で一人をやっちゃいかん。
三つ、男が女をぶっけっちゃいかん。
四つ、武器を手にははいかん。
五つ、相手が泣いたり謝ったりしたら、すぐに
やめなくてははいかん。
「この五つは絶対に守れ」と言われました。

ご挨拶

武井会員



本日はこのようなお祝いをしていただき有難
うございます。24年間いろいろとありましたが、
無事に保護司としてやってこられたのもロータ
リーに入っていたお陰だと思えます。これからも
出来るだけ世の中のお役に立つように頑張りた
いと思えます。

理事会報告

下津谷幹事



12月、1月のプログラムについて
12月26日は休会
1月12日(金)に新年会 5:00から
理事会(於 和泉屋)
保護司在籍24年で法務大臣賞受賞のため
慶弔規定に基づき武井会員を祝うことで承
認。

12月末にて川田会員の退会と会費を下期
分、返却することで承認。

幹事報告

下津谷幹事

第19回インターアクト協議会及び韓国訪
日団歓迎会の開催

日時 平成19年1月14日(日)10:00
場所 さいたま市民会館 いわつき
登録料 一人 5,000円
姉妹クラブ・マッチンググラント援助共同
クラブの募集についてのお知らせがきてお
ります。

委員会報告

親睦委員会

細井委員長



先日の親睦旅
行には大勢の方
の参加ありがと
うございました。
また、続いて19
日にはクリスマス会がありますのでご家族揃
っての参加をお願いします。当日は私の家内が
やっております電気の大正琴の演奏もありま
すので楽しみにしてして下さい。バスは17:
10出発の予定ですので遅れないように願
いします。

雑誌紹介

庄司委員長



12月は家族
月間ですので横
の1PにはR I
会長メッセージ
としてロータリ
ー家族についての記事が載っておりますので
お読み下さい。次に横の37Pには下津谷会員
の書いた「再訪 バングラディッシュ・ベタギ村」
という記事が載っています。WCSが中心とな
って建設した「ロータリー・ベタギ・ユニオン
ハイスクール」の運営確認のために8月25~
29日先方に連絡もせず訪問をした。センタ

一の生徒数は確保されており、熱心に勉強している様子に一安心。いろいろと視察し、チッタゴンのアグラバードRCとの交流も行いました。支援を通して得たバングラディッシュの人々との草の根の交流は、現在90歳の秋山博パストガバナーから教えを受けたWCSの精神そのものです。これからも温かく見守り続けたいものです。と語っています。

縦の7P～11Pの風紋には「ロータリーが支えた僻地医療の47年」ということで、北海道の浜中RCの道下俊一さんが紹介されています。釧路から車で2時間の太平洋に面した漁村で、住民のほとんどが昆布漁で暮らしている。今でも冬は吹雪で道路が寸断されることもしばしば。道下さんは1953年から2000年まで、人口7000人のこの町のたった一人の医師だった。本職は内科医、しかしそんなことを言っはられない。皮膚炎、ヒョウソ、虫垂炎、お産、何でもやらなければならなかった。遠くても迎えにいけば往診してもらえという噂が伝わり、凍てつく道を湯たんぽを抱いて2時間、山を三つ越えた集落まで出掛けたこともあった。道下さんの半生はすでに全国的に有名で87年の来道の際には美智子妃が

「僻地医療につきて語れる医師と居り
キリタツプ湿原霧ふかきなか」

という御歌を作られている。

道下さんは一年間の任期を終えて帰ろうとしたら、村長をはじめ村人達が入れ代わり立ち代り引き留めにやってきて「帰らねえでけれ！ここさ、いてけれ！」道下さんは負けた。そして、1960年5月24日、チリ沖地震による大津波である。キリタツプは再び壊滅的な被害を受けた。津波で消沈した村に活気を取り戻させたいと剣道教室を始めたり、「キリタツプ浜太鼓」をはじめ、道下さんはいつか霧多布人になっていた。頑健だった道下さんも1992年、腹部大動脈瘤の手術をしたり、胸部大動脈瘤の手術で入院。2000年後任の医師が着任した。「じつは私と家内の霧多布での生活を精神的に支えてくれたのはロータリークラブでした」・・・道下さんはしみじみ述懐する。閉ざ

された北海道の辺地での診療所の仕事と日常生活。しかしロータリーの窓は辺地から世界に向かって開かれていた。外部の広い世界との交流は、閉塞した心を開放してくれた。その後、道下さんはガバナーやRI会長代理も務め、現在に至っている。

出席報告

大作委員長

出席免除 2名

月日	会員数	出席	欠席	MU	出席率
12/5	27	19	8	3	85%

スマイル報告

大作委員長

武井会員 お祝いをいただきありがとうございました。

仁部会長 過日の親睦旅行にご協力いただきありがとうございました。師走です。お互い身体に気をつけましょう。

関口会員 親睦旅行楽しく行って来ました。ありがとうございました。

中島会員 誕生祝ありがとうございました。過日は親睦旅行大変お世話になりました。

鈴木会員 親睦旅行お世話様でした。さっき、結婚祝いの合鴨をいただきました。ありがとうございました。

細井会員 秋の日帰り研修旅行が皆様のご協力により楽しく出来たと思います。有難うございました。

黒岩会員 旅行は行けませんでした。春日部イブニングにメーキャップしてきました。他のクラブの活動を体験してきました。

武井会員おめでとうございます。以下同文

篠原会員、庄司会員、本多会員、下津谷会員、渡辺良一会員、新井会員、戸賀崎会員、野口会員、大作会員、田中会員、舟越会員、中村会員

本日投入額	26,000円
累計額	478,000円

